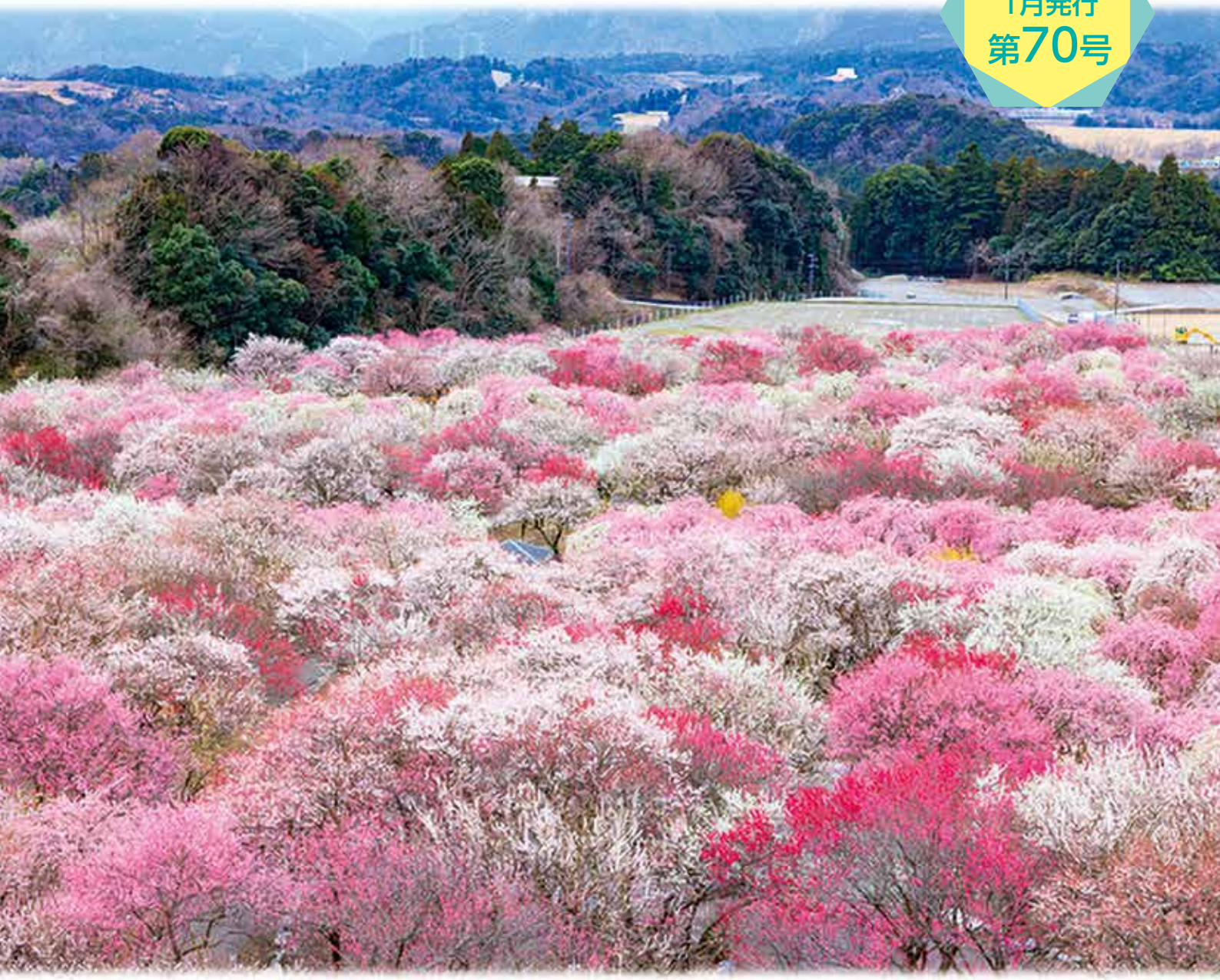
栃木県看護連盟だより

2023年
1月発行
第70号



2022年度
栃木県看護連盟会員数

連盟 7,477名
協会 12,465名

(2022.12月末現在)

保健師	158名
助産師	276名
看護師	6,829名
准看護師	214名
合計	7,477名

協会比 60.0%　賛助会員 140名

発行者：栃木県看護連盟
〒320-0838 宇都宮市吉野2-8-15
TEL 028-610-1035
発行責任者：栃木県看護連盟会長 宮本律子
印刷所：㈱松井ピ･テ･オ･印刷

INDEX

新年のごあいさつ
宮本律子・朝野春美・あべ俊子 ……2
たかがい恵美子・石田昌宏・友納理緒・中島まゆみ ……3
2022年度支部別会議・2022年度県別会議 ……4
会員研修会に参加して ……5
我が家自慢のペット紹介 ……6
おいしいお店の紹介 ……6

2023年 新年のごあいさつ

栃木県看護連盟会長
宮本律子

栃木県看護連盟会員の皆様、明けましておめでとうございます。また、日頃より看護連盟の活動に関しご理解とご支援を賜りありがとうございます。新年を迎えても新型コロナ感染症の終焉が見通せない中にいます。医療の最前線で活躍されている看護職の方々に敬意と感謝を申し上げます。

昨年の第 26 回参議院議員選挙では新人の友納理緒議員を無事国会に送り届けることができました。皆様のご支援に深謝いたします。厚生労働委員会等で質問に立つなど少しずつ活動の幅を広げられています。更なる活躍を応援していきましょう。

2023 年は卯年でありこれまでの努力が実を結び勢いよく成長し飛躍するような年といわれています。また、何かを開始するのに縁起が良く希望があふれ景気回復，好転する良い年であるとも言われています。友納議員には更に成長し飛躍を期待したいと思います。また、看護職の希望ある未来をもたらしてくれる次期参議院選への候補者も決まってくるでしょう。そして栃木県においては、連盟会員の増と看護職の質の向上を目指せるよう看護協会とともに活動していきたいと考えています。皆様のご協力を是非ともよろしくお願いいたします。

栃木県看護協会会長
朝野春美

あけましておめでとうございます。連盟会員の皆さまには、日頃より栃木県看護協会活動にご支援とご協力を賜わり心より感謝申し上げます。

未だに終息の兆しがみえない新型コロナウイルス感染症への対応にあたり、医療・保健・福祉・教育現場の最前線で日々ご尽力いただいている看護職の皆様に対し、感謝申し上げるとともに敬意を表したいと思います。

さて、昨年度の参議院選挙では、皆さまに大変ご協力をいただきありがとうございました。看護連盟と看護協会、そして他団体とも協働することで、成果をあげることができました。最後の最後まで、諦めずに一人一人が活動したことが、良い結果につながったものと思います。

今後も看護政策の実現のためには、看護連盟と看護協会が協働し、相互の理解を深め、それぞれの役割をしっかりと果たしていくことが必要です。看護協会としては共に歩んでいく看護職の仲間をひとりでも多く増やしていく年にしたいと考えています。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

衆議院議員
あべ俊子

あけましておめでとうございます。本年も、地元岡山から、元気に活動を開始いたしました。元日のすがすがしい朝の空気は、いつでも初心を思い起こさせます。今年も地域の皆さまにご挨拶しながら、全世代型社会保障の実現への決意を新たにいたしました。時代は大きく動いています。特に昨年は世界情勢の変動による物価高、更なる技術革新、コロナ禍による DX 化の推進など、多くの事柄が急速に変化しました。このような変化を看護業務の効率化、看護の専門性の向上、地域医療の推進にどのように繋げられるだろうか、といつも考えています。限られた人員で質の高い看護を提供できる環境整備に努めてまいります。

いつの時も、看護の最前線は臨床であり、病院や在宅で看護ケアを提供する皆さまです。政策立案の基本となるのは、現場の声です。人や社会を支える看護が、時勢にもとづいて変革していくことを貴連盟の皆さまと一緒に支えてまいりたいと存じます。

衆議院議員

たかがい 恵美子

初春の穏やかな日和に皆様の麗らかな笑顔が重なります。栃木県看護連盟の皆様におかれましては、平素変わらぬご厚情に心から感謝を申し上げます。

働き盛り世代が急減する中での子育て支援をはじめ、我が国は今、物質的豊かさの追求から人生100年に渡る尊厳重視へ、公共政策の関心が大きく転換しつつあります。自民党では昨夏の内閣改造後に人生100年時代戦略本部を廃し、新たに社会保障制度調査会を強化して、全世代を視野に入れた次代の制度体系について議論を始めています。役員の一人として、性差に着目した科学的な健康支援も積極的に取り入れ、幸せに齢を重ねることのできる近未来の地域づくりに取り組んで参ります。

穏やかならざる世情の鎮撫を願い、また各地で活躍する皆様のご健勝を祈念し、新年のご挨拶といたします。

参議院議員

石田昌宏

栃木県看護連盟の皆様、あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新年を健やかに迎えられたことと存じます。新型コロナ禍における多くの困難の中、医療の最前線に立ち続け、地域の健康を守るために力を尽くされている皆様に心より感謝と敬意を申し上げます。

国会において、議院運営委員会理事、厚生労働委員会委員、参議院自民党国会対策委員会副委員長を拝命致しました。国会運営が円滑に進むよう交渉役として走り回ると共に、引き続き、厚生労働政策を推し進めて参ります。

昨年11月、国家公務員看護職の俸給表である医療職俸給表（三）の昇級基準の改正が公表され、長年の課題であったキャリアアップに伴う処遇が改善されます。各病院でも、改正に追随するよう、給与表の見直しに取り組んで欲しいと思います。

皆様が「今日も良い看護ができた」と実感できる環境づくりのために引き続き尽力して参ります。本年も宜しくお願い申し上げます。

参議院議員

友納理緒

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。コロナ禍、様々な局面で命と向き合い、看護を提供して下さっている皆さまに心より感謝申し上げます。

昨年は皆さまから力強いご支援を賜り、国会に送り出していただきました。10月から始まった臨時国会では、厚生労働委員会で初質問の機会をいただきましたので、今後、新たな感染症に対応するためには、処遇、配置、環境など平時からの看護提供体制の強化が必要であることを訴えました。11月には、長年の懸案事項だった国家公務員医療職俸給表（三）の改正がなされました。声をあげれば変わることがあります。皆さまの声をしっかりと国政に届ける役割を今後も果たして参ります。

本年4月に「こども家庭庁」が創設されます。こどもの命を守るため、妊娠前からの切れ目のない支援を行うため、看護職には大きな役割が期待されます。

看護の明日をともにつくりましょう。本年もどうぞよろしくお願い致します。

足利市議会議員

中島まゆみ

あけましておめでとうございます。栃木県看護連盟の皆様におかれましては清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大が止まらない中、コロナ以前の日常を取り戻すべく県内でも様々なイベントが3年ぶりに復活し、なかでも42年ぶりに栃木県での開催となった第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」では厳重なコロナ対策が行われ、無事挙行することが出来ました。これもひとえに各医療機関をはじめ宿泊療養施設や在宅療養の場、ワクチン接種会場において日々ご活躍されている皆様のご尽力の賜物であり、心から敬意と感謝を表します。微力ではありますが、皆様が1日でも早く安全に働くことができ安心して生活できるよう、政策実現に向け全力で取り組んで参ります。

最後になりますが、栃木県看護連盟の皆様のご健康とご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

2022年度　支部別会議

10月から11月にかけ、支部別会議が開催されました。

主に7月の参議院選挙の振り返りと今後の看護連盟活動について話し合いが行われ、リモートではありましたが活発な意見交換ができました。各支部での課題も明確となり、今後の活動への道すじが見えてきたように感じました。有意義な連盟活動ができるよう、支部内役員と協力していきたいと思います。

ＪＣＨＯうつのみや支部　石母田恵美

【出席者】

看護部長・支部長・支部幹事長・青年部　他

【所要時間】

２０分～３０分

【内　容】

３年後の選挙を見据えて　他

支部名	開催日	時　間	会　場
自治医大	10/ 6　木	13：30～	ZOOM
国際医療福祉大学	10/ 6　木	15：30～	ZOOM
日　　光	10/13　木	13：30～	ZOOM
大　田　原	10/13　木	14：30～	ZOOM
ＪＣＨＯうつのみや	10/13　木	15：30～	ZOOM
済生会宇都宮	10/13　木	16：30～	ZOOM
塩谷・塩原	10/18　火	13：30～	ZOOM
鹿　　沼	10/18　火	15：30～	ZOOM
菅　　那	10/20　木	13：30～	ZOOM
獨協医大	10/20　木	14：30～	ZOOM
栃　　木	10/20　木	15：30～	ZOOM
中　央　南	10/24　木	15：30～	コンセーレ
芳　　賀	10/27　木	13：30～	ZOOM
小　　山	10/27　木	14：30～	ZOOM
佐　　野	11/ 8　火	13：30～	ZOOM
足　　利	11/ 8　火	14：30～	ZOOM

2022年度　県別会議

日　時　11月18日（金）　**会　場**　ホテル東日本宇都宮

【経　緯】

2021年度は、第26回参議院選挙を約４か月後に控え、より実践に即した具体的な活動について、支部長・施設リーダー等を交えて検討し、高得票の獲得を目指した。

2022年度は、第26回参議院選挙を総括し、第27回参議院選挙に向け課題を明確化し改善策に繋げられる内容とした。

【目　的】

1）第26回参議院選挙総括から、各都道府県の課題解決への対策を明確にする。

2）連盟会員確保に向けて、各都道府県の課題、解決策を検討する。

COVID-19 第８波の影響により日本看護連盟　近藤幹事長　福田常任幹事は ZOOM での参加で、栃木県県別会議が開催されました。組織内代表候補に友納理緒氏が正式決定し、選挙まで約４ヶ月という短期間でしたが、全国の看護連盟が一致団結し、みごと当選しました。これは知名度アップのためリーフレット作成、インターネットの活用、施設訪問などの行動が票の獲得へ結びついたと日本看護連盟より報告がありました。栃木県看護連盟からは、看護協会と連携を図り、合同研修会で友納氏への講師依頼や研修会昼休みに友納氏の紹介ビデオ・講義等の放映を行い、候補者の周知に努めていったこと。また各支部で、職員の後援会入会に協力が得られ期日前投票の促進に努めることで、第 25 回参議院選挙より約 1200 票多い票を得ることができたとの報告がありました。少子化のため今後看護連盟会員の増加を望むのは難しく、また結婚や退職を機に退会する看護職もおり、どのようにアプローチしていくか、また選挙が終わった後にどのように活動していくかが重要となることが議題に上がりました。日本看護連盟岡山幹事より、投票に結び付けられるような活動が大切となり、役員以外で看護連盟の活動や国会に看護職を送る必要性を語れるプレゼンターの人材育成を16支部で連携を図り行っていくことが大切であることが伝えらました。伝える側のスキルを磨き、看護政策実現に向け連盟活動を理解して頂けるよう継続した支部活動を推進していきたいと思います。

獨協医大支部　神馬千登勢

会員研修会に参加して

日　時 **2022年12月9日**
会　場 コンセーレ　小ホール
内　容 ●栃木県看護連盟会員研修会
講演　「看護連盟の活動について」
●クリスマススワッグ作製

今回の研修では、 日本看護連盟のあゆみや実績についての講演があり、 改めて日本看護連盟の歴史や役割が再認識できました。 その中で特に重要なのは、 法律と政治であると感じました。 看護職が抱えるさまざまな問題を解決するためには、 政治的手段によってしか解決できない問題があります。そのためには、看護職の代表を国政に送り、看護協会の目指す政策や意見を反映させ解決していかなければなりません。そのために私たちができることそれは選挙に行き投票することだと思いました。個人だけが投票するのではなく、一人ひとりの力を集結し大きな力に変えていくためには、なぜ政治活動が必要なのか、そして投票する重要性を周りに伝えていく必要があると思いました。

後半は感染対策を行ないながらクリスマススワッグを作製しました。終息のみえないコロナ禍、第8波の到来の中、みんなでクリスマススワッグを作製できたことは、リフレッシュとなり大変有意義な時間となりました。

とちぎメディカルセンター しもつが　前川典子

※参加者皆様の写真はホームページに掲載しております。ご覧下さい。

我が家自慢のペット紹介

ミレイ（女の子）
2歳です。♥

5ヶ月の時に
保護しました。

おいしいお店の紹介

coffee＆おさんぽ いろはにもみじ

日光市栗原 101　TEL 0288-25-7830

営業日 土・日
営業時間 10:00～16:30
冬場はインターネットで
営業日確認

おすすめメニュー
自家製パンを使ったサンドウィッチ・
パスタ・ドリンク
屋外で食べる解放感と素晴らしいロケーション、
お子様が遊びながら居られる空間が良いです。
ぜひ、癒されてください。

特　典 連盟誌を持って来店した方
ブレンドコーヒーまたはアイスコーヒーサービス

オーナー様より、「民放のテレビ局取材はお断りしているのですが、栃木県の方に利用して頂きたいことと、母親、叔母が看護師だったので今回は協力させていただきます。」というお言葉頂きました。

2022年度 研修会予定

2月　6日㊊　看護連盟・看護協会合同研修会
2月 17日㊎　支部連絡員研修

2023年度 看護連盟総会予定

6月 13日㊋　日本看護連盟通常総会
会場：ザ・プリンスパークタワー東京
6月 19日㊊　栃木県看護連盟通常総会
会場：コンセーレ大ホール

編集後記

明けましておめでとうございます。会員の皆様には、看護連盟の活動にご協力、ご支援を頂き感謝申し上げます。

COVID-19 の収束の兆しは見えず、日々感染症対策に奮闘していることと思います。今年の干支のうさぎは災難や悪運、悪い気などから免れることができる、避けることができるといわれています。うさぎに肖り、感染症から免れ、医療従事者である私たちも、自由に会食や旅行ができるようになるとよいですね。

会員の皆様にとりまして幸多い年となりますように。